

【経営体育成基盤整備事業 萱場地区】

基盤整備を契機とした担い手の規模拡大と経営強化（茨城県水戸市）

体制・人材
づくり

栽培作物
・方法

加工・出荷

販売

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に農地中間管理機構を活用し、担い手への農地集積・集約化を大幅に進める
- 基盤整備を契機に、平均区画面積を整備前7.6aから、整備後38.2aと約5倍に拡大し、生産コスト縮減を図る
- 基盤整備により水田を汎用化し、新たな畑作物の導入を促進

基盤

農地の大区画化等による営農効率の向上および担い手の経営規模拡大

- 区画整理や用排水整備により、慢性的な排水不良と用水不足が解消され、計画的な営農が可能になった
- 農地の大区画化等により大型機械の導入が可能となったことから、営農効率の大幅な向上が図られ、**担い手の経営規模が拡大**



大区画化されたほ場



安定した用水供給を可能とした機場と調整池

基盤整備
(R1年～)

【整備前】
用排水路が未整備だったため、**排水不良**と慢性的な**用水不足**に悩まされており、担い手の経営規模拡大の支障になっていた

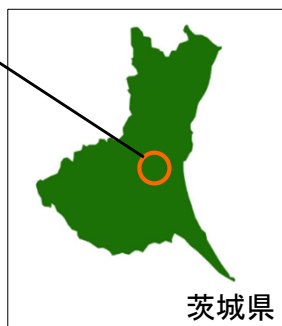


整備前の状況

【取組地域の概要】

- 位置 みとし
茨城県 水戸市

かやば
萱場地区



- 地区面積
22ha
- 主要作物
水稻、はくさい

- 主な支援施策
 - ・農業競争力強化農地整備事業 (R1～)
 - ・農地耕作条件改善事業 (R5～R7)
 - ・地域集積協力金 (R5)

生産現場

大区画化・汎用化による新たな作物の導入

- 大区画化や汎用化により、大型機械の導入が可能となり、水稻の**生産コスト削減**に寄与
- 汎用化により、**はくさい**の導入による高収益化を図る予定



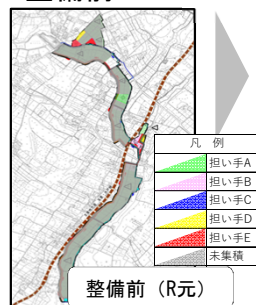
担い手による収穫作業

中間管理機構を活用した担い手への農地集積

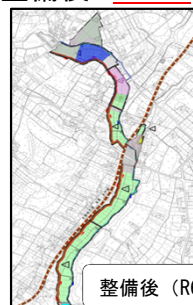
- 基盤整備を契機に、中間管理機構を活用した担い手への農地集積が大幅に進展

【農地集積率】

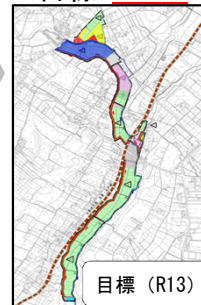
整備前: 7.2% → 整備後: **79.5%** → 目標: **90.8%**



整備前 (R元)



整備後 (R6)



目標 (R13)

担い手

基盤整備を契機として、地区の生産額が増加

- 大型機械の導入等による生産コスト削減により、担い手の規模拡大につながり、**地区全体の生産額が大幅に増加**

【担い手Aの作付状況】 (ha)

品目	事業前	実施後	計画
水稻	4.3	19.0	25.0
栗	—	—	1.5
促成筍			0.1

【出典: R6年1月担い手聞き取り結果より】



【出典: R6年度萱場地区事業計画資料より】